

第3回佐賀さいこう表彰（がん対策部門）授与式を行いました

令和2年9月19日（土曜日）「がん征圧県民のつどい」にて「第3回佐賀さいこう表彰（がん対策部門）」授与式を執り行いました。



左から 草場真智子氏、木原慶吾氏、山口知事、豊増三枝子氏（鳥栖タオル帽子の会 代表）、
江口泰子氏（かんざき清流苑 施設長）

○受賞者

（社会福祉法人佐賀整肢学園 かんざき清流苑）

様々な両立支援制度を備え、がんを患った従業員一人一人に合わせた両立支援プランを設計。施設内スタッフの配置転換を柔軟に行うなど、がん患者の治療と仕事の両立を支援する仕組みづくりに尽力。

（鳥栖タオル帽子の会）

がん治療の影響で脱毛に悩む方々へ、タオルで手縫いした帽子や治療時などに使用するポーチを送る活動に尽力。8年間で1,700枚を超えるタオル帽子を贈呈。

（木原 慶吾 氏）

ミュージシャン及びがんサバイバーとして、がんに関する普及啓発活動に尽力されるとともに、リレー・フォー・ライフ・ジャパン佐賀の実行委員長として県内開催の定着に貢献。昨年度にはアメリカ対がん協会から、「2019 Global heroes of hope」を受賞。

（草場 真智子 氏）

自身のがん治療の経験をもとに、長年にわたりがん患者や御家族への相談支援やがん予防に関する普及啓発活動に尽力。